

○菅原委員長 ただいまより議会運営委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でございます。

ここで、この後の協議のため、無所属議員を委員外議員として出席を求めることでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○菅原委員長 暫時休憩いたします。

休憩 午後２時５１分

再開 午後２時５２分

○菅原委員長 それでは、議会運営委員会、再開させていただきます。

１の令和７年第３回定例会の運営について、（１）の議会人事についてということですが、このことにつきましては、９月３０日付で提出された副議長の辞職願について継続協議となっております。このことについて、明日、１０月８日の本会議において、大綱質疑の前に扱い許可をすることとしたいと思いますが、このような流れでよろしいでしょうか。（「委員長」の声あり）えびな委員。

○えびな委員（自民会議） 前回、協議継続になりまして、我が会派として、各会派ともいろいろ相談をしてみたいんですけども、ちょっと２点だけ申し述べたくて、発言をお許しをいただきたいと思います。

前々回の議会運営委員会の中で、高見副議長が火災が原因で辞めたいということで、御自身の口から説明がありました。我々としては、火災の責任をとるのも責任だけれども、やはり副議長としての責任として、皆さんで決められた副議長でありますから、副議長としての責任を果たすのも責任であるという思いの中で、副議長が、全会派が副議長として残ってほしいというのであれば再考するというをおっしゃって休憩、散会になりました。やはり、我が会派としては、体調が悪かったとしても、１会派でも副議長を続けてほしいという気持ちがあるのであれば、やはり、そこを尊重して欲しかったなど。そして、議会運営委員会がまた開かれて、またそのことについても副議長のお口から説明がお聞きできるかとも思っていたんですけども、議長にも相談がないまま、そのまま議会を休まれてしまったと。そのことについて、致し方ない事情があったにしても、これは、ほかの人たちから見たら、自分は体調が悪いからいなくなるけれども、あとのことはほかの人たちでやってくれというふうに見られても致し方ないような行為であるんじゃないかなというふう

に受け止めております。

そして、もう１点、６月１７日という日に副議長になってから、こんな短い期間で副議長を辞職することになってしまったこと、そして、我々会派としては、前々回の議会運営委員会で、公明党さんと我が会派からも質疑がありましたけれども、その日の朝の新聞で辞職するっていうことについて知ったこと、そして、その後の対応についても、副議長を出している民主連合さんの責任もやはり重いのではないかということをお申し述べさせていただきたいと思います。

以上です。

○菅原委員長 それでは、再度お聞きいたします。副議長の辞職について、明日、10月8日の本会議において、大綱質疑の前に扱い、許可をすることとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○菅原委員長 それでは、そのように扱うことといたします。

なお、本会議で副議長の辞職の許可を扱うときには、本人は除斥となります。また、後任の副議長人事については、この後の代表者会議で協議をするということによろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○菅原委員長 それでは、そのように扱うことといたします。

次回の議会運営委員会の招集につきましては、追って連絡することといたします。

以上、散会いたします。

---

散会 午後2時56分